

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月27日

計画の名称	相模原市雨水対策基本計画（河川整備プログラム）（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	相模原市												
計画の目標	「雨に強いまち」さがみはら（浸水被害の軽減・解消に向けて）												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	201	A	201	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R3末)
1	相模原市雨水対策基本計画に基づき浸水被害対策（河川改修）を実施する地域において、概ね時間雨量50mmの降雨に対して安全となる区域の面積を9.69 km ² （H29）から10.03 km ² （R3）に増加。 (改定)相模原市雨水対策基本計画に基づき河川改修を行う地域における、概ね50mm/h降雨に対して安全となる区域の面積。	9690千㎡	9710千㎡	10030千㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																												
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況									
												H29	H30	H31	R02	R03												
一体的に実施することにより期待される効果																												
備考																												
その他総合的な治水事業	A08-001	総合治水	一般	相模原市	直接	相模原市	準用	—	相模川圏域総合流域防災事業（準用河川鳩川）	設計、用地	相模原市	■	■	■	■	■	3	—										
	A08-002	総合治水	一般	相模原市	直接	相模原市	準用	—	相模川圏域総合流域防災事業（準用河川八瀬川）	設計、測量、地質調査	相模原市	■	■	■	■	■	3	—										
										小計						6												
河川事業	A03-003	河川	一般	相模原市	直接	相模原市	—	—	相模川水系鳩川（道保川）都市基盤河川改修事業	L=157m 護岸、用地	相模原市	■	■	■	■	■	195	—										
											小計						195											
										合計							201											

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

市内部評価

事後評価の実施時期

令和5年9月

公表の方法

市ホームページにて掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

河川改修を行った結果、安全となる区域の面積が9.69 k m² (H29) から9.75 k m² (実績) へ増加したことにより、治水安全度が向上し、浸水被害は軽減傾向にある。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況 (必要に応じて記述)

特になし。

○特記事項 (今後の方針等)

相模原市雨水対策基本計画 (河川整備プログラム) については、令和4年度以降も引き続き河川改修を行い、流域における治水安全度の向上を図る。

